

2009年6月14日実施

日弁連 法科大学院適性試験 解答&解説 2 by 数学塾

以下は、2009年6月14日に実施された法科大学院適性試験の解答、解説です。解答については、日弁連ホームページにて確認しておりますが、解説については「数学塾」オリジナルとなっています。どこよりも早い解説をWebに掲載するため、誤字・脱字、説明不足、過多もあると思いますが、少しでも皆様のお役に立てればと思います。

なお、当解説に関するご質問、ご指摘などにつきましては、

数学塾 (TEL/FAX 03-3880-1780、E-mail: fumiya@thinkingout.jp)

代表 松川文弥

までご連絡頂けましたら幸いです。

なお、解説につきましては、当塾のメインであります第2部分分析のみとさせていただきます。第1部論理についてもある程度は用意できますが、取り急ぎご了承ください。

松川文弥 (2009/6/16)

-----  
日弁連 法科大学院適性試験 第2部 「分析」

### 【第2問】

最初の問題文を読み、まず変数を探します。

ここでは、最初の変数はA,B,C,D,Eという草の種、プランター(1列にあり、下の条件文から左・・・とあるので)左から1,2,3,4,5と名付けます。

種をプランターに入れたようですが、名札がなくなってしまい、わからなくなった→おそらく、証言からこれらを当てる問題なのだろう。と予測できます。ただし、注意点は、1つのプランターに1つの種なのかどうか？ここが不明確です。(証言から明らかになるはず。)

まずは表を作成し、証言にある条件を入れていきます。証言をまとめると・・・

証言1、2つのプランターに2種類の種(A,B...)、残りには1種類ずつ。(→ここで○の数が決定)

さらに、2つの種が入っているプランターは隣合わない。

証言2、Aを2つの隣合わないプランターに入れた。

1つは1番左。(→ここから2種類入れたものの1つはAであることが確定。)

	A	B	C	D	E
1	○				
2					
3					
4					
5					
○の数	2				

証言 3、B は A とは違うプランター。さらに A の隣にも B はない。  
 ⇒B は 1, 2 に×が入る。(表は基本×を入れるものです)

	A	B	C	D	E
1	○	×			
2		×			
3					
4					
5					
○の数	2				

証言 4、E の両隣に A あり。  
 ⇒E の両隣に A が来るようにするには、A-3 が○になる。そして E-2 に○。さらに証言 3 と合わせて、B は 1-4 が×になり、B-5 が○  
 さらに E は○が 1 個でないと条件を満たさない。

	A	B	C	D	E
1	○	×			×
2	×	×			○
3	○	×			×
4	×	×			×
5	×	○			×
○の数	2	1			1

証言 5、C は隣合う 2 つのプランターに○  
 ⇒何パターンか考えられるが、証言 1 の 2 種類のプランターは隣合わないから、以下のパターンに絞られる。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×		×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×		○
3	○	×	×		×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

さらに、D の入る位置を考えると、左表の場合 2 種類入っているものは隣合わないから、D-2,3,4 に×。  
 右表の場合、同様に D-4,5 に×。  
 とりあえずこれ以上は、進まないようなので、設問へ。

(1)B はどこ? →5 なので、左から 5 番目よって③

(2)正しいものを選び。

- 1、左から 1 番目は必ず C →必ず A なので、違う
- 2、左から 2 番目は必ず C →必ず E なので、違う。
- 3、左から 3 番目は必ず C →A と C か、A なので、必ずではない。違う。
- ④、左から 4 番目は必ず C →確かに C しかない。正しい。正解
- 5、左から 5 番目は必ず C →B+? または B,C なので、必ずではない。違う。

(3)正しいものは？

- 1、Aがあるプランターは必ず2つ○がある→Dによって変わるので必ずではない。違う。
- 2、Bがある・・・ →右表は2つだが、左表は必ずではない。違う。
- 3、Cがある・・・ →1つの場合、2つの場合とあるので必ずではない。違う
- ④、Dがある・・・ →Dのどこに○をつけても必ず2つある。正解
- 5、Eがある・・・ →Dの位置によって変わるので必ずではない。違う

(4)

1、A・Dが一緒に○だと以下のようになり、A・C一緒のが必ずある。→ある場合もあるが、ないときもあるので、必ずではない。違う。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×	×	×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	×	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

②、E・Dが一緒になるのは、右表のみ。このときB・Cは必ず一緒になっている→正解。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×		×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	×
2	×	×	×	○	○
3	○	×	×	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

3、B・Cが一緒になるのは、左表のみ。このときE・Dは一緒ではないので、違う。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×	○	×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×		○
3	○	×	×	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

4、A・Cが一緒になるのは、下表のとき。B・Cは必ず一緒は限らないので、違う。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×	×	×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	×	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

5、B・D一緒になるのは、左表のみ。A・Dはないので、違う。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×	○	×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×		○
3	○	×	×		×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

<条件追加>3種類(A,B,C...)が3つあり、すべてのプリンター(1,2,3....)にある。  
 ⇒これは”結局”何が言いたいのでしょうか？本番で焦っている中ではつらい考えです。  
 これは、1~5の中で、3つのアルファベットだけで示せるもの。という感じです。  
 実際に考えてみると・・・・・・・・

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×	×	○
3	○	×	○	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	×		×
○の数	2	1	2	1	1

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×		○
3	○	×	×		×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

左表だと、Dがどこに○をつけても、適さないです。たとえば、D-1に○をつけると、1~5をつくる最低限のアルファベットは、A,B,C,E となってしまいます。なぜなら、B,D,E は単独で1つづあるので、これだけで3つです。このほかに最低1つ以上足さないと条件を満たしません。  
 右表の場合、Dのどこに○をつけても、1~5を構成する3つのアルファベットは、A,E,Cであることがわかります。ただし、D-2に○がついた場合 A,D,Cになることも考えられます。

(4)正しいものは？

- 1、A・Bはない。違う。
- ②、A・Cは必ずある。正しい、正解。
- 3、B・Cはない。違う。
- 4、D・Eは同時にはありえない。違う。
- 5、A・Eの可能性はあるが、必ずとはいえない。違う。

(5)正しいものは？

- 1、Aが出ててもDの位置が決まらないので、すべてを復元はできない
- 2、Bが出てても同様にDが決まらないので、不適
- 3、Cが出てても同様にDが決まらないので、不適。
- ④、Dが出ていれば、D-2が確定するので、すべて決まる。(→表)

	A	B	C	D	E
1	○	×	×		×
2	×	×	×		○
3	○	×	×		×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

5、Eが出ててもDが決まらない  
ので、不適。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	×
2	×	×	×	○	○
3	○	×	×	×	×
4	×	×	○	×	×
5	×	○	○	×	×
○の数	2	1	2	1	1

第3問は、別ファイルにて掲載します。

本問は、最初にイメージができれば、すいすい行けそうですが、○の数などで先入観があると、戸惑う  
と思います。わたくし自身も戸惑いがでてしまい、(5)、(6)は勘で正解でした。(4)のみ間違いで済んだこ  
とは不幸中の幸いです。